

四月、渋澤敬三より至急上京せよとの電報をうけ上京。

満州へ行くまでの間、全国を一通り見て歩くようにすめられ、すぐ教師をやめるべしと説得される。考慮を約して帰阪。

四月 上京

八月二六日〜二九日〔吉野西奥調査〕上市町・大淀町（岸田定雄出征につきお別れに）・下市町・大塔村篠原・惣谷・中井俣示・辻堂・殿野・坂本

九月 再び渋澤敬三より、教師をやめて上京すべし、と長文の電報をうけ、漸く決心する。

九月三〇日 退職。それより吉野西奥をあるく。

一〇月七日〜一六日〔吉野西奥調査〕宗捨村城戸・平雄・勢井 天川村中越・坪之内・篠原 十津川村迫・温泉地・上葛川・玉置川

一〇月一七日 大阪民俗談話会第五一回例会後、戒橋大琴楼において宮本常一送別会開催

一〇月二五日 上京、アチック・ミュージアムにはいる。妻子は大阪におく。三疊の部屋に起居。

一〇月 上京

一一月一七日〜一二月四日 中国山地民俗探訪調査 アチック入所最初の調査旅行。

一一月一七日松江・笠浦・野波村野井・大蘆村、一八日大蘆・御津村・惠曇村片句、一九日片句、二〇日片句・江角・松江、二一日島根県那賀郡跡市村（森脇太）・田所村鱒淵（田中梅治）、二二日鱒淵、二三日鱒淵・大朝、二四日〜二七日大朝寒曳山裾の田丸義人宅（腹痛で二六日まで臥す）、二八日大朝・八幡・樽床、二九日樽床・横川、三〇日横川・石見広見・紙祖・三葛、三十一日三葛・鹿足郡蔵木村河津・金山谷・山口県高根村向峠、一二月二日向峠、三日向峠・本郷村・広瀬村、四日広瀬・岩国。

柳田（64歳）

『木綿以前の事』『国語の将来』刊

一月二三日から二月末まで 南九州民俗調査

一月二三日〜母と福岡旅行 二三日（二四日？）大島発福岡（宮地嶽参拝）・福岡、二五日香椎宮・箱崎八幡・太宰府・観世音寺、二六日福岡（母大島へ）発、二七日朝鹿児島着

〔屋久島調査〕

一月二七日鹿児島発屋久島安房着・原、二九・三一日原（原、麦生聞書）、二月一日粟生、二日安房・小瀬田、三日小瀬田・一湊、四日一湊、五日一湊・宮之浦、六日〜八日宮之浦、九日宮之浦・田尻発種子島西之表着 一〇日中種子熊野・西之表発鹿児島

昭和15（一九四〇）年

40 日独伊三国同盟、ベルリンで調印  
40 大政翼賛会結成  
40 紀元二千六百年祝典、赤飯用もち米を特配  
40 幻の東京オリンピック

40 大日本産業報国会創立  
40 田植機開発、約一〇年で全国普及  
40 母船式マグロ漁開始

40 米・味噌等一〇品目に切符制決定  
40 牛乳配給令  
40 砂糖配給統制実施  
40 隣組（歌）  
\*青い目のセルロイド人形輸出

39 一杯のコーヒーから（歌）